

特集

資産運用における新しいパラダイム

—第7回国際セミナー〔SAAJ - CFA Institute / 日本CFA協会共催〕より—



## 開 会 挨拶

公益社団法人 日本証券アナリスト協会

会 長 大 場 昭 義 CMA

第7回国際セミナーの開催に当たり、ご挨拶申し上げます。本日は、多数の皆さまにご参加いただき、心より歓迎いたします。

日本証券アナリスト協会では、金融資本市場に関する専門知識と実務的な応用力の向上を目的に、資産運用関連のセミナーを1989年以来毎年開催しております。2009年まではCFA協会（CFA Institute）と共同で開催しておりましたが、10年からは「国際セミナー」と銘打って日本証券アナリスト協会が単独で開催してきました。今回はその7回目となりますが、今年はCFA協会と協力して共催することとなりました。

なお、日本証券業協会、投資信託協会、日本投資顧問業協会の三協会に後援団体になっていただいております。

今回のテーマは、「資産運用における新しいパラダイム」であります。皆さまご承知の通り、資産運用業は金融業の中で成長が見込まれる分野として世界的に認識されており、わが国でも大きな注目が集まっています。

振り返ってみますと、わが国で資産運用業が発展する一つの重要な契機として、85年の投資顧問業法の制定などの資産運用業に関する法整備がありました。その背景には、当時わが国でも、機関投資家の運用資産が厚みを増し、運用の効率化、高度化が求められていたという事

## 特集

情があります。

運用の担い手が広がる中、日本証券アナリスト協会では、金融資本市場の様々な変化を眺めながら、証券アナリスト資格の教育・試験プログラムの改定、強化に努めて参りました。また、87年に「証券アナリスト職業行為基準」を制定し、2000年に全面的な見直しを行った際には、フィデューシャリー・デューティーを明示的に取り込み、その後も必要に応じて基準を改定し、会員に遵守を求めているところであります。わが国の金融資本市場の拡大に伴い、CMA資格保有者、すなわち日本証券アナリスト協会検定会員の数は30年前の1,000名から大幅に増え、現在、26,000名を超えており、調査部門、資産運用部門のみならず事業会社のIR、財務部門にまで広がっています。

こうした中で、わが国の資産運用業の歴史は欧米に比べまだ浅く、今後、わが国の資産運用業が高い専門性をもって持続的に成長していくためには、資産運用会社の経営の独立性の強化や高度な専門能力を備えた人材の育成、マネジメントなど、中長期的に取り組むべき課題が数多くあります。

本日のセミナーでは、金融資本市場活性化のための環境整備を推進されておられる森信親金融庁長官に基調講演をお願いしております。また、日米の資産運用業界の第一線でリーダーシップを発揮しておられる講師やパネリストの皆さまに、資産運用会社として更なる飛躍に向けてどのような経営・運用戦略をとっていくべきかについてお話をいただきます。

本日のセミナーが、わが国の資産運用業の持続的な発展を考える上で有益な示唆を与えるものとなりますことを祈念して、わたしの挨拶とさせていただきます。

## 特集

### 資産運用における新しいパラダイム

—第7回国際セミナー（SAAJ - CFA Institute / 日本CFA協会共催）より—



## 開 会 挨拶

元CFA Institute議長

チャールズ・J・ヤン CFA

本日セミナーに参加されている皆さまはCFA Instituteについてご存知であり、また、皆さまの多くがCFA資格保有者の方々と仕事をされたことがあると思います。CFA試験に合格することは非常に難しいということをご存知だと思いますが、合格すれば名誉のしるしであるCFAという三文字は、信用そして専門家としての信頼性を意味することになります。しかし、この三文字は、個人的な信頼以上の意味を持っています。

CFA Instituteは、資産運用業界における信頼を回復するための努力を行っています。今回のセミナーのテーマである「資産運用における新しいパラダイム」は、CFA Instituteの使命に通じるものであり、日本の資産運用業界の将来にとって重要なテーマですので、私自身、このセミナーに大きな期待を寄せています。

CFA Instituteは、世界中でカンファレンスを開催し、参加者との対話の中で真の投資プロフェッショナルとは何かということを常に考えています。真のプロフェッショナルには、次の要素があります。

- 公益のために知識を活用するというコミットメント
- 幅広く受け入れられる共通の知識体系
- 個人が実務に携わる前にそのような知識を持っているという証明
- 職業倫理およびその遵守状況のモニタリングと執行

## 特集

例えば、われわれが医師の診察を受ける際には、その医師はわれわれを診断するための十分な資格と能力を持っていると考えます。弁護士を雇う際にも、われわれの代弁者として深い法的知識を持っていると信頼しています。

医療・法律分野と同様に、資産運用業界においても次のような理由からプロフェッショナルリズムはなくてはならないものです。

- 資産運用業は経済、事業活動、個人に影響を及ぼします。
- プロフェッショナルに対する信頼がなければ、人々は資産運用をしません。
- プロフェッショナルは、不確実性や弊害を最小限にするために、専門家として適切であるとする基準、職業倫理を確立することができます。
- プロフェッショナルは、適切なトレーニングおよび教育を継続して受けることを必須としています。

CFA Instituteの目標は、金融界に働きかけて、そこに携わる人々の公平性、知識の研鑽、個々人の誠実性が実現されるようにすることです。それによって、われわれの業界に真のプロフェッショナルを育成し、投資家にとって有益なリソースを提供することを目指しています。

完璧な世界であれば、金融不祥事やインサイダー取引はありませんし、また、企業が投資家よりも自社の利益を優先するということはありません。しかしながら現実の世界は完璧なものではありません。業界の過去を書き変えることはできませんが、業界の将来を描くことはできます。若い世代には業界の将来を変えていく機会があります。

本日は日本の資産運用業界の将来について議論を深めていただきたいと思います。また、金融は、公益のための力になり得るというわれわれのビジョンを共有し、業界の持続的な発展に尽くしていただきたいと思います。

今こそわれわれの使命を再認識し、日本の資産運用業界が、倫理的で公正であり、顧客の役に立つ業界として再構築されることを望みます。

有難うございました。本日のセミナーが皆さまにとって有意義なものとなれば幸いです。